

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(国道)				補助・単独別		補助	建設部道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
1	(国)141号 うみじり 海尻	歩道設置工 L=490m W=2.5m 〔工期:H19～H26〕	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=250m	必要性 A	26%	H23年度は引き続き歩道設置工を進める。	安全な歩行区間の確保による事故多発箇所の早期解消のため集落センターまでの歩道整備が必要である。	安全な歩行空間の確保のため、追加整備の必要性が認められる。	「拡大」	
						重要性 B	特記事項 H23変更:延長220m増、事業費1億6千万円増、工期3年増 安全な歩行空間の確保のため集落センターまでの整備を行う。					
	(南牧村)	4億5000万円	3360万円	2000万円	3億3300万円	効率性 A	住民参加状況等 特になし。					
2	(国)141号 いちばさか 市場坂	登坂車線設置工 L=1,410m W=6.0(11.0)m 〔工期:H16～H23〕	登坂車線設置工 L=400m	登坂車線設置工 L=60m	登坂車線設置工 L=60m	必要性 B	99%	計画どおり進んでいる。 H23年度に登坂車線の完了を図る。	地域唯一の幹線道路としての機能確保と強化のため平成23年度の完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 特になし。					
	(南牧村)	14億670万円	1億6760万円	2000万円	2000万円	効率性 A	住民参加状況等 特になし。					
3	(国)299号 せんがひなた 千ヶ日向	歩道設置工 L=320m W=2.5m 〔工期:H22～H27〕	用地測量 1式 物件調査 1式 用地補償 1式	歩道設置工 L=50m	歩道設置工 L=320m	必要性 A	11%	計画どおり進んでいる。 H23年度に歩道設置工に着手する。	今後開通が予定されている中部横断自動車道の八千穂IC(仮称)のアクセス道路であり、通学路であるため早期の歩道整備が必要である。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 特になし。					
	(南牧村)	1億8000万円	1480万円	4000万円	1億6000万円	効率性 C	住民参加状況等 特になし。					
4	(国)144号 すみよし 住吉	歩道設置工 L=360m W=3.5m 〔工期:H21～H25〕	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=360m	必要性 A	6%	計画どおり進んでいる。 H23年度は引き続き用地補償を進める。	歩道中抜け区間であり、交通量も多いことから早期の歩道整備が必要である。	必要性、重要性が認められる。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 特になし。					
	(上田市)	5億円	3110万円	6500万円	4億6800万円	効率性 A	住民参加状況等 特になし。					
					緊急性 B							

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(国道)				補助・単独別		補助	建設部道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
5	(国)143号 あおき 青木	歩道設置工 L=450m W=2.5m (工期:H19~H24)	歩道設置工 L=200m	歩道設置工 L=150m	歩道設置工 L=150m	必要性 A	79%	H23年度に歩道設置工の完了を図る。	通学路の中抜け区間であり、交通量も多いことから、早期の歩道整備が必要であり、平成23年度の完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 特になし。					
	効率性 A											
	緊急性 C	住民参加状況等 地域住民により歩道除雪を行っている。										
6	(国)142号 たいしやまえ 大社前	歩道設置工 L=180m W=4.0m (工期:H19~H23)	用地補償 1式 物件補償 1軒	歩道設置工 L=70m	歩道設置工 L=70m	必要性 A	-44%	H23年度に歩道設置工に着手する。	町で進める街並み環境整備事業と一体となって、諏訪大社の参道整備による整備効果が期待できる。1期工区として旧中山道までを整備し、平成23年度の完了を図る。	他事業との一体的整備を進めるため、追加整備の必要性が認められる。平成23年度での完了を図る。	「拡大」	
						重要性 B	特記事項 H17より町では街並み環境整備事業(住宅局補助)により諏訪大社周辺活性化のため、修景整備等を進めている。 H21年4月下諏訪町歴史的風致維持向上委員会(文科省、農水省、国交省)の認定を受けている。 H23変更 延長40m増、事業費5000万円増。 町営駐車場から旧中山道までを1期工事で整備を行う。					
	効率性 A											
	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。										
7	(国)403号 かのり 叶里~ しもいほり 下井堀	歩道設置工 L=720m W=2.5m (工期:H19~H24)	歩道設置工 L=70m	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=330m	必要性 A	33%	計画どおり進んでいる。 H23年度は引き続き歩道設置工を進める。	通学路であり、歩道の中抜け区間であることから事業促進を図る。	必要性が認められる。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 H22変更 延長600m減、事業費4億円減、工期3年減。 地元との調整により集落部以外は片側歩道とする。					
	効率性 A											
	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。										
8	(国)143号 あおくちまわ 大口沢	交差点改良工 L=250m W=9.0(13.0)m (工期:H20~H24)	交差点改良工 L=70m	交差点改良工 L=155m	交差点改良工 L=180m	必要性 A	57%	計画どおり進んでいる。 H23年度は引き続き交差点改良工を進める。	松本市街地と四賀地区を結ぶ重要な路線であり、安全な歩行空間を併せて確保し、早急に整備する必要がある。	安全な歩行空間の確保のため、追加整備の必要性が認められる。	「拡大」	
						重要性 A	特記事項 H22変更 延長100m増、事業費1億円増、工期1年増。 交差点の実際の車両の通行状況の調査により、右折レーンの影響範囲を延伸。 H23変更 延長50m増、歩道増、事業費3千万円増。 交差点改良に併せバス停及び歩道の整備を行う。					
	効率性 A											
	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。										

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(国道)				補助・単独別		補助	建設部道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
9	(国)147号 かんだちょうきた 神田町北  〔安曇野市〕	歩道設置工 L=1,372m W=2.5m 〔工期:H15～H24〕  5億4500万円	用地補償 1式  1850万円	歩道設置工 L=100m  6000万円	歩道設置工 L=590m  2億4000万円	必要性 A	56%	計画どおり進んでいる。 H23年度は歩道設置工事に着手する。	当該路線は交通量も多く、JR穂高駅に至る歩行者経路でもあり、早期に歩道の整備を図る必要がある。	必要性、緊急性が高く、重要性も認められる。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 特になし。
						効率性 B						
						緊急性 A						
10	(国)403号 めいほくしょうがっこう 明北小学校  〔安曇野市〕	歩道設置工 L=460m W=2.5m 〔工期:H22～H25〕  1億5000万円	歩道設置工 L=70m  4890万円	歩道設置工 L=70m  3000万円	歩道設置工 L=390m  1億400万円	必要性 A	31%	計画どおり進んでいる。 H23年度は引き続き歩道設置工事を進める。	小学校、保育園に接し歩道中抜け区間であることから、早期に歩道の整備を図る必要がある。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 特になし。
						効率性 A						
						緊急性 A						
11	(国)147号 さんげんや 三軒家  〔松川村〕	歩道設置工 L=250m W=2.5m 〔工期:H21～H23〕  1億5000万円	歩道設置工 L=90m  5000万円	歩道設置工 L=160m  1800万円	歩道設置工 L=160m  1800万円	必要性 A	88%	計画どおり進んでいる。 H23年度は歩道設置工事を完了する。	当該箇所は、小学校及びJR駅に近く、死亡事故も発生しているため歩道を整備する必要性は高い。平成23年度の完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 特になし。
						効率性 A						
						緊急性 C						
12	(国)148号 きたあまち 北大町  〔大町市〕	歩道設置工 L=700m W=4.0m 〔工期:H15～H23〕  9億6000万円	歩道設置工 L=35m  3640万円	歩道設置工 L=200m  8200万円	歩道設置工 L=200m  8200万円	必要性 A	91%	計画どおり進んでいる。 H23年度に歩道設置工事を完了する。	通学路で歩道中抜け区間であり、通学児童が危険にさらされているため、早期の歩道整備が必要であり、平成23年度の完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 B						特記事項 特になし。
						効率性 B						
						緊急性 B						

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(国道)				補助・単独別		補助	建設部道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
13	(国)403号 あめのみや 雨宮	歩道設置工 L=100m W=2.5m (工期:H20~H23)	歩道設置工 L=60m	歩道設置工 L=40m	歩道設置工 L=40m	必要性 A	93%	計画どおり進んでいる。 H23年度に歩道設置工事を完了する。	歩道のない緊急対策踏切であり、歩行者の安全を確保するため歩道整備が必要であり、平成23年度での完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 平成23年度末長野電鉄屋代線廃止が決定となったため事業休止。					
					効率性 B							
	(千曲市)	1億3900万円	2600万円	1000万円	1000万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。					
14	(国)406号 ひろこうじ 広小路	歩道設置工(両側) L=114m W=3.5m (工期:H20~H26)	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=114m	必要性 A	50%	計画どおりに進んでいる。 H23年度は引き続き用地補償を進める。	通学路に指定されており、必要性、緊急性ともに高い。交通量及び歩行者が多く、歩道整備を行う必要がある。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 H22変更 事業費5億円増、工期2年増。 当初通学路の確保のため北側のみ整備する予定であったが、地元との協議の中で交通量、通行者を勘案して両側での歩道整備とした。					
					効率性 C							
	(須崎市)	11億円	1億7900万円	2億2000万円	5億5400万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
15	(国)403号 しば 柴	交差点改良工 L=460m W=6.5(15.0)m (工期:H15~H23)	用地補償 1式	交差点改良工 L=140m	交差点改良工 L=140m	必要性 A	95%	H22年度までに用地補償が完了し、H23年度に交差点改良工事を完了する。	交差点形状が変則的で右折レーンがなく朝晩は渋滞しているほか、交通事故が発生しているため、早期改良が必要であり、平成23年度完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 特になし。					
					効率性 A							
	(長野市)	8億2300万円	5700万円	4000万円	4000万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。					
16	(国)403号 ひがしえび 東江部	歩道設置工 L=1,100m W=2.5m (工期:H15~H23)	歩道設置工 L=290m	歩道設置工 L=150m	歩道設置工 L=150m	必要性 A	94%	H23年度に歩道設置工事を完了する。	通学路に指定されており、必要性、緊急性ともに高い。歩道中抜け区間であり通学児童が危険にさらされているため、早期の歩道整備が必要であり、平成23年度完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 特になし。					
					効率性 A							
	(中野市)	5億3840万円	1億2300万円	3000万円	3000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(国道)			補助・単独別	補助	建設部道路管理課			
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
	合計	79億5710万円	10億4710万円	8億9100万円	26億3600万円						

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(地方道)				補助・単独別	補助	建設部道路管理課			
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
1	きゆうかる いざわかるいざ わていせん (旧)軽井沢 新軽井沢 〔軽井沢町〕	自転車歩行者道設置工(両側) L=460m W=5.5m (延べL=920m) 〔工期:H21~H24〕	自転車歩行者道設置工 L=460m	自転車歩行者道設置工 L=100m 舗装工 L=460m 照明工 一式	自転車歩行者道設置工 L=190m	必要性 A	48%	計画どおり進んでいる。 H22年度に西側の歩道が完了し、H23年度は舗装及び照明設置工事を実施する。	歩行者と自転車の接触による事故の危険が高い箇所であり、自転車対策の必要性がある。	必要性、重要性が高い。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 歩道に自転車通行帯を設け、歩行者と自転車の円滑な交通を整備する。無電柱化事業と併せて実施。 H23変更 車道舗装460m、照明工増、事業費7千万円増。 明るく安全な沿道環境の確保のために道路照明を追加する。
						効率性 B						
						緊急性 B						
2億1000万円		7500万円	9000万円	1億1000万円								
2	しもにたあ さしなせん 浅科線 あらこた 新子田 〔佐久市〕	歩道設置工 L=830m W=2.5m 〔工期:H17~H23〕	歩道設置工 L=180m	歩道設置工 L=330m	歩道設置工 L=330m	必要性 A	92%	H22年度までに東保育園側の歩道が完了し、H23年度は東中学校側の歩道設置工事を完了する。	通学路に指定されており、歩道中抜け区間であり通学児童が危険にさらされている。狭い東中学校側の歩道整備が必要であり、平成23年度完了を図る。	安全な歩行空間確保のため、追加整備の必要性が認められる。 平成23年度での完了を図る。	「拡大」	
						重要性 B						特記事項 H23変更 延長330m増、工期1年増 東中学校側の歩道が狭いため、330m延伸する。
						効率性 A						
						緊急性 B						
3億7400万円		4500万円	3000万円	3000万円								
3	あしたおお やていせん 屋(停)線 しおかわしょうが 塩川小学校 こういりぐち 入口 〔上田市〕	歩道設置工 L=460m W=2.5m 〔工期:H17~H26〕	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=250m	歩道設置工 L=300m	必要性 A	49%	H22年度に小学校までの歩道が完了し、H23年度は引き続き南側の歩道設置工事を進める。	通学路であるほか、老人福祉施設が近傍にあることから歩行者の安全確保のため、早期の歩道整備が必要である。	必要性が高い。	「継続」	
						重要性 B						特記事項 H23変更 事業費1億円増、工期4年増 工区南側について線形改良としたため、工期及び事業費を増とす。
						効率性 A						
						緊急性 B						
4億9200万円		4130万円	4000万円	2億5000万円								
4	しもはらお おやていせん 屋(停)線 まちよしだ 町吉田 〔上田市〕	歩道設置工 L=430m W=2.5m 〔工期:H18~H23〕	歩道設置工 L=80m	歩道設置工 L=220m	歩道設置工 L=220m	必要性 A	88%	計画どおり進んでいる。 H23年度に歩道設置工事を完了する。	通学路であり交通量もあることから、早期の歩道整備が必要であり、平成23年度の完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 特になし。
						効率性 A						
						緊急性 B						
5億6700万円		7390万円	7000万円	7000万円								

番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
5	(主)別所丸 子線 別所 〔上田市〕	歩道設置工 L=830m W=2.5m 〔工期:H20~H25〕	用地補償 1式	歩道設置工 L=250m	歩道設置工 L=830m	必要性 A	45%	H22年度までに一部用地補償が完了し、H23年度から歩道設置工事に着手する。	観光地である別所温泉の玄関口であることから、早期の歩道整備が必要である。	必要性、重要性が認められる。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 特になし。
						効率性 A						
						緊急性 C						
6	(一)茅野 (停)八子ヶ峰 公園線 埴原田 〔茅野市〕	歩道設置工 L=750m W=2.5m 〔工期:H21~H25〕	用地補償 1式	歩道設置工 L=200m	歩道設置工 L=650m	必要性 A	20%	計画どおり進んでいる。 H22年度までに一部用地補償が完了し、H23年度から歩道設置工事に着手する。	歩行者による事故の危険が高い箇所であり、歩行者対策の必要性がある。又地権者を含む地元住民の要望が強く、事業効果も大きい。	必要性が認められる。	「継続」	
						重要性 B						特記事項 下水道整備事業と併せ工事の進捗を図る。
						効率性 A						
						緊急性 B						
7	(主)伊那辰 野(停)線 平出下町 〔辰野町〕	歩道設置工 L=520m W=2.5m 〔工期:H19~H25〕	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=130m	歩道設置工 L=420m	必要性 A	58%	計画どおり進んでいる。 H23年度は引き続き歩道工事を進める。	交通量が多く通学路であり、歩行者が常に危険にさらされているため早期の歩道整備が必要である。	必要性が高く、重要性も認められる。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 「下町交通対策委員会」とワークショップ形式で対策と事業の進め方を検討した。
						効率性 C						
						緊急性 C						
8	(一)上飯田 線 市場踏切 〔飯田市〕	歩道設置工 L=50m W=2.5m 〔工期:H22~H24〕	用地補償 1式	歩道設置工 L=50m	歩道設置工 L=50m	必要性 A	20%	計画どおり進んでいる。 H23年度から歩道設置工事に着手する。	歩道の中抜け区間であり、歩行者は狭小な路肩部分を通行していることから、早期に歩道整備が必要である。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 H23変更 延長30m減。 地元及びJRとの調整により片側歩道のみとし、延長を減とした。
						効率性 A						
						緊急性 C						

番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
9	(主)松本塩尻線 〔塩尻市〕	歩道設置工 L=620m W=2.5m [工期:H18~H25]	用地補償 1式	歩道設置工 L=200m	歩道設置工 L=620m	必要性 A	21%	計画どおり進んでいる。 H22年度までに一部用地補償が完了し、H23年度から歩道設置工事に着手する。	大型交通量が多く歩行者が危険にさらされているため、早期の歩道整備が必要である。	必要性、重要性が認められる。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 特になし。
						効率性 A						
						緊急性 C						
10	(主)松本環状高家線 〔松本市〕	歩道設置工 L=360m W=2.0m [工期:H16~H24]	用地補償 1式	用地測量 1式	歩道設置工 L=240m	必要性 A	60%	計画どおり進んでいる。 H23年度は引き続き用地補償を進める。	通学路に指定されており、歩行者が多いため、早期の歩道整備が必要である。	必要性は認められる。	「継続」	
						重要性 C						特記事項 特になし。
						効率性 A						
						緊急性 C						
11	(一)新田松本線 〔松本市〕	歩道設置工 L=1,000m W=2.5m [工期:H17~H24]	歩道設置工 L=240m	歩道設置工 L=200m	歩道設置工 L=450m	必要性 A	67%	H23年度は引き続き歩道設置工事を進める。	路肩が非常に狭く、大型車交通量が多いため歩行者が危険にさらされていることから、早期の歩道整備が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
						重要性 C						特記事項 歩道設置区間の先線に、松本市の臨空工業団地がH24年に完成予定のため、早期の歩道整備が必要である。
						効率性 A						
						緊急性 B						
12	(一)矢室明科線 〔松本市〕	歩道設置工 L=360m W=2.5m [工期:H19~H23]	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=260m	歩道設置工 L=260m	必要性 B	73%	計画どおり進んでいる。 H23年度に歩道設置工事を完了する。	通学路であるが歩道はなく、歩行者が危険にさらされており、歩行者の安全確保のため早期の歩道整備が必要であり、平成23年度の完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 B						特記事項 特になし。
						効率性 A						
						緊急性 C						



番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
13	まつもとこうこう (一)松本空港 せん 線  まちかん 町神  〔松本市〕	【一期工区】 歩道設置工(両側) L=360m W=2.5m 〔工期:H22~H26〕 【全体】 歩道設置工(両側) L=780m W=2.5m 〔工期:H22~H28〕	用地補償 1式	歩道設置工 L=60m	歩道設置工 L=360m	必要性 A	6%	計画どおり進んでいる。 H22年度に一部用地補償が完了し、H23年度 から歩道設置工事に着手する。	通学路であるが歩道 はなく、歩行者が危険 にさらされており、歩 行者の安全確保のため 早期の歩道整備が 必要である。	必要性、重要性が高い。	「継続」
		重要性 A				特記事項 特になし。					
		効率性 B	住民参加状況等 特になし。								
		緊急性 B									
14	なかほりひ (一)中堀一 日市場(停 せん 線  ゆたか 温  〔安曇野市〕	歩道設置工 L=560m W=3.0m 〔工期:H17~H24〕	用地補償 1式	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=560m	必要性 A	27%	計画どおり進んでいる。 H22年度までに一部用地補償が完了し、H23 年度から歩道設置工事に着手する。	通学路に指定されて おり、必要性、緊急性 ともに高い。歩道中抜 区間であり、通学児童 が危険にさらされてい るため、早期の歩道整 備が必要である。	必要性は認められ る。	「継続」
		重要性 C				特記事項 特になし。					
		効率性 A	住民参加状況等 特になし。								
		緊急性 C									
15	おおまちあ (主)大町明 かしせん 科線  いけだ 池田  〔池田町〕	歩道設置工 L=840m W=2.5m 〔工期:H17~H24〕	歩道設置工 L=190m	歩道設置工 L=80m	歩道設置工 L=280m	必要性 A	69%	計画どおり進んでいる。 H23年度は引き続き歩道設置工事を進める。	通学路に指定されて おり、必要性、緊急性 ともに高い。歩道中抜 区間であり、通学児童 が危険にさらされてい るため、早期の歩道整 備が必要である。	必要性が高く、重要 性も認められる。	「継続」
		重要性 A				特記事項 特になし。					
		効率性 B	住民参加状況等 特になし。								
		緊急性 C									
16	ながのうえだ (主)長野上田 せん 線  いなりやま 稲荷山  〔千曲市〕	歩道設置工(両側) L=120m(延350m) W=2.5m 〔工期:H17~H23〕	歩道設置工 L=130m	歩道設置工 L=80m	歩道設置工 L=80m(延80m)	必要性 A	95%	H22年度までに養護学校前の歩道が完了し、 H23年度は計画を縮小し歩道設置工事を完 了する。	当区間は養護学校等 福祉施設があり、歩道 が狭隘であることから、 早期に歩行空間の 安全確保が必要である が、歩道拡幅の同意が 得られない部分につい て計画を縮小し、平成 23年度の完了を図る。	平成23年度での完 了を図る。	「縮小」
		重要性 B				特記事項 特になし。 H23変更 延べ延長L=650m減、事業費5億1千万円減、工期3年 減。 地元調整により、一部歩道拡幅の同意が得られず、現況幅員で 整備とするため。					
		効率性 A	特になし。								
		緊急性 B									

番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
17	かみむろが さかき てい せん 坂城(停)線  かみごみょう 上五明  〔坂城町〕	歩道設置工(両側) L=340m(延680m) W=3.0~3.5m 〔工期:H20~H24〕	用地補償 1式	歩道設置工 L=140m	歩道設置工 L=340m(延680 m)	必要性 A	17%	計画どおり進んでいる。 H22年度までに一部用地補償が完了し、H23 年度は歩道設置工事に着手する。	中抜け区間であること から早期の歩道整備 が必要である。	必要性は高い。	「継続」
						重要性 B					
		効率性 A									
		緊急性 C	住民参加状況等 特になし。								
18	なかのお ぶせ せん 布施線  びょういんまえ 病院前  〔小布施町〕	歩道設置工 L=780m W=2.5m 〔工期:H17~H25〕	歩道設置工事 L=100m	用地測量 1式	歩道設置工 L=400m	必要性 A	69%	H22年度までに病院前まで歩道が完了し、 H23年度は引続き先線の用地補償を行う。	歩道中抜け区間であ り、通学路であるため 早期の歩道整備が必 要である。	必要性が認められ る。	「継続」
						重要性 B					
		効率性 A									
		緊急性 B	住民参加状況等 特になし。								
19	しんでんは るきせん 木線  おがわら 小河原  〔須坂市〕	歩道設置工 L=890m W=2.5m 〔工期:H19~H25〕	用地補償 1式	歩道設置工 L=200m	埋文調査 1式 歩道設置工 L=640m	必要性 A	56%	計画どおり進んでいる。 H22年度は用地補償を実施し、H23年度は歩 道設置工事を進める。	交通量が多く人身事 故が発生しており、早 期の歩道整備が必要 である。	必要性が認められ る。	「継続」
						重要性 B					
		効率性 A									
		緊急性 B	住民参加状況等 特になし。								
20	さんさいま めじまなかごしょ 豆島中御所 せん 線  あさひ 朝陽  〔長野市〕	歩道設置工 L=420m W=2.5m 〔工期:H20~H24〕	用地補償 1式	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=420m	必要性 A	24%	計画どおり進んでいる。 H22年度までに用地補償を実施しており、 H23年度から歩道設置工事に着手する。	長野東バイパスの開 通に伴い当該区間の 自動車交通量が増加 することが予想される ため、早期の歩道整 備が必要である。	必要性が高く、重要 性も認められる。	「継続」
						重要性 A					
		効率性 B									
		緊急性 B	住民参加状況等 特になし。								

番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
21	(主)長野管 だいらせん 平線  まめじま 大豆島  〔長野市〕	歩道設置工(両側) L=200m(延400m) W=2.5m  [工期:H22~H26]	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=200m	必要性 A	12%	H23年度は引き続き用地補償を進める。	小学校に近接し通学 路に指定されており、 交差点改良とあわせ 早期の歩道整備が必 用である。	必要性が高く、重要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 特になし。
						効率性 C						
						緊急性 A						
22	(主)長野大 おまかん 町線  なかじょうみや 中条宮  〔長野市〕	歩道設置工 L=300m W=2.5m  [工期:H22~H26]	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=300m	必要性 A	8%	計画どおり進んでいる。 H22年度に用地補償に着手し、H23年度は引 き続き用地補償を進める。	通学路に指定されて おり、地元要望が強く 早期の歩道整備が必 用である。	必要性は高い。	「継続」	
						重要性 B						特記事項 特になし。
						効率性 A						
						緊急性 C						
23	(主)上越飯 いいやません 山線  こがねいし 黄金石  〔飯山市〕	歩道設置工 L=700m W=3.5m  [工期:H15~H24]	用地補償 1式	歩道設置工 L=150m	歩道設置工 L=290m	必要性 A	76%	計画どおり進んでいる。 H22年度までに一部用地補償が完了し、H23 から歩道設置工事に着手する。	国道117号交点から 歩道が整備されてお り、中抜け部の歩道 の事業促進を図りたい。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 特になし。
						効率性 A						
						緊急性 C						
24	(一)馬曲木 まていせん 島(停)線  たかいし 高石  〔木島平村〕	歩道設置工 L=410m W=2.5m  [工期:H17~H23]	用地補償 1式	歩道設置工 L=210m	歩道設置工 L=210m	必要性 A	86%	計画どおり進んでいる。 H23年度に歩道設置工事を完了する。	歩道中抜け区間で あり通学児童が危険に さらされているため、 早期の歩道整備が必 要であり、成23年度 の完了を図る。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」	
						重要性 C						特記事項 特になし。
						効率性 A						
						緊急性 B						

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(地方道)				補助・単独別		補助	建設部道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
25	<small>そねふじのき</small> (主)曾根藤ノ <small>せん</small> 木線  <small>やなぎさわ</small> 柳沢  〔飯山市〕	歩道設置工 L=1200m W=2.5m 用地補償 1式 [工期:H17~H24]	歩道設置工 L=180m	歩道設置工 L=530m	必要性 A	88%	H22年度までに670m歩道が完了し、H23年度は引き続き歩道設置工事を実施する。	歩道中抜け区間であり通学児童が危険にさらされているため、早期の歩道整備が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」		
					重要性 A						特記事項 特になし。	
					効率性 A							
					緊急性 C							住民参加状況等 特になし。
合 計	101億4300万円	12億5090万円	11億2000万円	48億3901万円								